

## 2025年度

### 松山市立石井保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月18日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	毎月行われる職員会議で唱和し理解を深めることができた。年間を通して計画的に園内研修を行い、質の高い保育と全職員が同じ方向性をもって保育することができた。また、定期的にマニュアル委員会を開催し現場の細かな課題やリスクを洗い出すとともに、決められたルールを見直し実践を行うことができた。
子どもの発達援助	「その子らしさ」の個性を理解したうえで、職員一人ひとりが丁寧な保育を行うことを心がけた。遊びや保育活動・友だちとの関わりの中で、のびのび遊び、自分を存分に発揮できる環境を整えることができた。
保護者に対する支援	日頃から保護者とのコミュニケーションを大切に信頼関係を築いている。個別の悩みに寄り添った対応を行い、保護者と一緒に子どもの最善を考えることができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修や外部研修を通じて保育の質を確保するなど、職員のスキル向上に努めた。各クラスでの日常的な話し合いや、月に一度の主任・副主任を交えての話し合い等を通じて、課題への組織的な取り組みを行った。

総評
今年度は、「丁寧な保育」を園全体で取り組み、安心できる環境や肯定感の基礎となる成功体験や思いを受け止めてもらう経験を職員は大切に考え、子どもの限界を大人が決めてしまわないよう子ども主体の保育を心がけていくことができた。 STEAM教育では、全職員で理解を深めるために動画を視聴し「STEAM教育とは」ということから学び、毎月の職員会議で実施クラスが報告をし職員の理解の底上げに繋げた。来年度はSTEAM保育を参観できるような取り組みやカリキュラムの回覧などを行い、もう一段階進めていきたい。